

KeePer技研所属社員である女子レスリングの選手2人が活躍中!

●吉元玲美那選手

10月6日(日)~9日(水)に佐賀県で行われた第78回国民スポーツ大会にて埼玉県代表として出場し、53kg級優勝、また女子レスリングの優秀選手にも選ばれました。

この大会は、国内最高峰のレスリング大会である「全日本選手権大会」に匹敵する大会とのこと。吉元選手は、「年末の天皇杯に向けて課題を活かし、練習に励みます」と意気込んでいます。

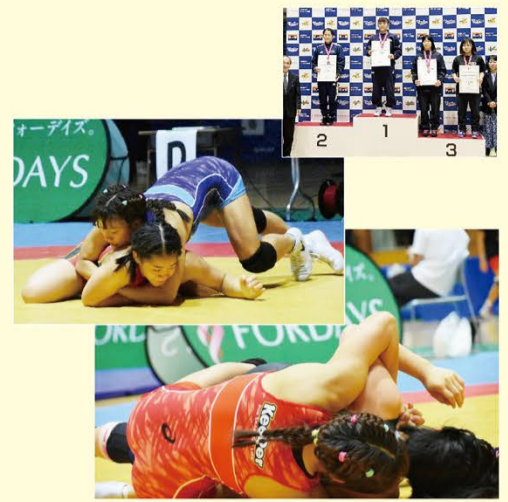


●岩網さら選手

10月20日(日)に静岡県で行われた全日本女子オープンレスリング選手権大会フォーデイズ杯に出場し、57kg級で優勝しました。

この大会は女子レスリングの全国大会で、12月に行われる国内最高峰のレスリング大会「天皇杯」への出場資格を求めてさまざまな県から集まります。

岩網選手は、「約1年ぶりの試合で優勝ができてうれしいです。決勝はシニアの世界選手権で優勝経験のある相手だったのですが、しっかりと勝ちきることができ天皇杯に向けていい流れができました。今年最後の天皇杯でも優勝目指し頑張ります」と国外の宿舎に参加し、12月に備えています。



広報・メディア情報

●イベント

GR Garage一宮でKidsエンジニア with KeePerが開催!

10月13日(日)に小学1~6年生を対象にエンジニアの体験ができるイベントが愛知県のGR Garage一宮で開催されました。

新しく発売されたキッズ用のつなぎに身を包み、タイヤ脱着体験やライト点検体験をしていました。



KeePerの体験では、ラ・モップを使ったボディー洗車と内窓、掃除機掛けによる車内清掃を体験してもらいました。初めての経験でみなさん興味津々。車内清掃ではお菓子券を見つけるというゲームも加わり、とても楽しみながら体験をしていました。



キッズ用つなぎが購入できます!

お店のイベントやノベルティに、
ご自分のお子様にもどうぞ!!



身長: 約120cm
価格 11,000円
(税別)

2024 SUPER GT Report

10/19(土)・20(日) 第7戦/オートポリス

38号車「KeePer CERUMO GR Supra」 苦戦するも1ポイントは掴んで10位。次戦の巻き返しを狙う。

荒天に悩まされ、すべての走行がキャンセルとなった土曜日から一夜明け、予選・決勝日を迎えた。少しずつ霧が晴れ、コンディションが回復していく中、大湯都史樹選手はウエットタイヤからスリックタイヤと変更しつつ、タイムを上げていったが、ライバルたちのタイムアップが大きく、13番手という順位で公式予選を終えた。

迎えた決勝、スタートドライバーは大湯選手。17周目には8番手まで浮上。その後、#19「GR Supra」のアクシデントにより導入されたセーフティカーラン明け、ピットイン。石浦宏明選手に交代した。コースイン直後、石浦選手は1コーナーにアプローチしたが、わずかにコースアウトを喫してしまった。これで3台ほどに交わられてしまう。直後、#17「CIVIC TYPE-R GT」がクラッシュしセーフティカーランとなるが解除後、第2ヘアピンのアプローチで、2台前にいた#16「CIVIC TYPE-R GT」がスピンを喫し、石浦選手の前を走っていた#8「CIVIC TYPE-R GT」が避けたところにいきなり停止車両が現れて、コース外側のグリーンに避けるも2台に先行されてしまう。さらに左フロントフェンダーのパーツが外れ、パーツが動くたびにバランスが変化するが、パーツが自然に外れてからはペースを取り戻す。そんな中、61周目に#64「CIVIC TYPE-R GT」が3コーナーでクラッシュ。3回目のセーフティカーランとなる。このタイミングでピットに入れず、ピットインを済ませていた陣営が上位に進出することになった。

石浦選手はピットに戻り、ふたたび大湯選手にステアリングを託した。追い上げをみせるも、最後はGT300クラスのアクシデントで4回目のセーフティカーランに、10位でフィニッシュを迎えた。



100号車「STANLEY CIVIC TYPE R-GT」

激しいポジション争いを走り抜いて4位フィニッシュ!

予選を7番手で終え、決勝。スタートドライバーは牧野任祐選手。徐々にタイヤが温まってくると、サクセスウェイトが軽い後続車が猛追、19周目からは6番手で周回を重ねた。23周目にアクシデントに見舞われた車両の撤去が行われ、FCYを経てSC導入となったため、前後車両とのギャップが消滅。28周終了からリスタートが切られたが、35周を終えてピットインして、山本尚貴選手へと交代。山本選手は激しいポジション争いを繰り広げ、ファンを大いに沸かせる。最後の最後、スプラッシュでのレース再開ともなれば逆転の可能性もあっただろうが、SC先導中にトラブルが出た別の1台がコースサイドにストップ。これにより、SC先導が解除されることなく3時間が経過。92周のレースとして、表彰台は逃したものの4位でレースを終えた。



61号車「SUBARU BRZ R&D SPORT」

マシントラブルから無念のリタイヤ。

予選は18位。決勝レースは2回のピットインと給油を義務付けられているため、ドライバーローテーションは山内英輝選手がダブル・スティントを担当し、井口卓人選手でチェッカーを迎える作戦。山内選手はスタート直後からジャンプアップし、上位に迫る。14周目には6位に上がるごぼう抜きを披露し、最初のピットイン時は4位。49周目にはトップに立つという離れ業を見せました。しかし、ピットイン予定の直前に運悪くセーフティカーが入りピットクローズとなってしまう。セーフティカーランの間すでに2回のピットインを済ませた後続車との差が詰まる。セーフティカーランが明けてすぐにピットインしたが、大きく順位を落とす。それでも10位でコースに復帰した井口選手は5位にまで順位を戻します。そして残り8ラップとなったとき、ブレーキトラブルが発生し、減速できずにガードレールにクラッシュ。リタイヤとなった。救急車でメディカルセンターに運ばれた井口選手は、幸いにも軽いむち打ち程度だった。



残すはあと第1戦!!最後まで応援よろしくお願いします!!

Rd.5(延期開催)

12/7(土)8(日)鈴鹿サーキット(三重県)

新型車 車種サイズ情報

新型車種

●スズキ/FRONX

サイズ: Mサイズ(新型)
(3,995×1,765×1,550mm)



新型車種

●Jeep/Avenger

サイズ: Mサイズ(新型)
(4,105×1,775×1,595mm)

